

低レベル放射性廃棄物(ドラム缶)の塗装の剥がれ等について(続報)
(低レベル放射性廃棄物埋設センターにおけるドラム缶の外観確認結果)

2019年3月13日

浜岡原子力発電所から日本原燃株式会社(以下、「日本原燃(株)」という。) 低レベル放射性廃棄物埋設センター(以下、「埋設センター」という。)へ 2018年に輸送し、現在一時貯蔵されている低レベル放射性廃棄物(ドラム缶)958本について、貯蔵期間が1年を超える見込みとなったことから、2019年2月25日から3月12日にかけて、日本原燃(株)が自主的に外観確認を実施しました。

その外観確認の結果について、日本原燃(株)より連絡を受けたため、お知らせします。

《日本原燃(株)による外観確認》

【実施期間】2019年2月25日～3月12日

【対象本数】958本(2018年3月に浜岡原子力発電所から輸送し、現在、埋設センターで一時貯蔵中のドラム缶)

【外観確認結果】・外観上、問題がなかったドラム缶:956本
・塗装の膨らみ等が確認されたドラム缶:2本

【塗装の膨らみ等が確認されたドラム缶の状況】

①水滴の付着が確認されたドラム缶(3/1確認)



②塗装の膨らみが確認されたドラム缶(3/6確認)



これら2本のドラム缶については、放射性物質による汚染は確認されていないこと、およびシートなどで適切に保護し養生管理をしている旨の連絡を受けております。

今後、塗装の膨らみ等が確認されたドラム缶2本については、浜岡原子力発電所へ返送し、詳細な調査をおこなってまいります。

<これまでの経緯>

浜岡原子力発電所から埋設センターへ2018年3月に輸送したドラム缶960本のうち、2本のドラム缶底部外面に塗装の剥がれ等が確認されました。このため、当該ドラム缶2本を返送し、958本を埋設センターで一時貯蔵しておりました。

また、同年5月に浜岡原子力発電所から搬出予定であったドラム缶928本のうち、1本のドラム缶底部外面にも類似の状態が確認されました。

本事象の原因と対策を 2019 年 2 月 15 日にお知らせしています。

<これまでの公表>

- 輸送した低レベル放射性廃棄物の調査の開始について [\(2018 年 4 月 25 日お知らせ済み\)](#)
- 浜岡原子力発電所の 2018 年度新燃料等の輸送予定の変更について [\(2018 年 4 月 27 日お知らせ済み\)](#)
- 浜岡原子力発電所の 2018 年度新燃料等の輸送予定の変更について(2 回目) [\(2018 年 6 月 7 日お知らせ済み\)](#)
- 低レベル放射性廃棄物の輸送(返送)について [\(2018 年 6 月 18 日お知らせ済み\)](#)
- 低レベル放射性廃棄物(ドラム缶)の塗装の剥がれ等について(続報)(原因と対策) [\(2019 年 2 月 15 日お知らせ済み\)](#)

以 上